

取手市高須地区の旧農協建物が交流活動拠点に。



## 高須ハウス TAKASU HOUSE オープン お披露目会＋フォーラム開催

取手アートプロジェクト〈半農半芸〉が、取手市高須地区に新たな活動・交流拠点を開きます。  
地域の方々、他の専門団体、行政との協力のもと、アーティストらが集い活動を生み出していきます。

### お披露目会

日程：2014年2月1日(土) 12:00～16:30

会場：TAKASU HOUSE (茨城県取手市高須 2166・高須公民館となり)

### フォーラム

日程：2014年2月1日(土) 13:00～16:00

会場：高須公民館 (茨城県取手市高須 2157)

取材のご協力を、どうぞよろしくお願いいたします！

## ▼ 取手アートプロジェクト《半農半芸》の新拠点！

2010年に発足した取手アートプロジェクト《半農半芸》。郊外都市・取手において芸術家たちが農ある小さな営みとともに表現活動を続けていくライフスタイルの模索を目指して立ち上がった本プログラムは来る2014年2月、取手市の中でも農の風景と営みが色濃く残る高須地域の旧農協建物を活動交流拠点としてひらくこととなりました。

ディレクター岩間賢をはじめ、表現を自らのライフスタイルと切り離せないものとして営む複数のパートナーアーティストたちが今進めている取組みとともに、プロジェクトメンバーが自身の手でつくりあげた新たな活動拠点を今回ご披露します。

## ▼ お披露目会＋フォーラム開催概要

※フォーラムは申込制となっています。

無料送迎バスの運行もございますので、ご利用の際にはお早めのお申込みをお勧めします。

※いずれも参加無料です。

### ■TAKASU HOUSE お披露目会…プロジェクトメンバーが自らの手で改装した拠点

2014年2月1日（土）12:00～16:30／会場 TAKASU HOUSE（茨城県取手市高須2166）

内容：

12:15～12:30 オープニングセレモニー

以降16:30まで -新拠点自由見学

-これまでの活動アーカイブ・作品展示・プロジェクト紹介

-アーティスト紹介・インタビュー映像 ほか

### ■フォーラム「地域文化としての《半農半芸》一人・地域・労働の未来」

2014年2月1日（土）13:00～16:00／会場 高須公民館（茨城県取手市高須2157）

内容：

13:00 基調講演 芹沢高志氏（※略歴次ページ）「育ち続けるアートの”場”」

13:40 プロジェクト参加アーティストプレゼンテーション

15:10 ラウンドテーブル

16:00 終了

## ▼ 基調講演

芹沢 高志 せりざわたかし SERIZAWA Takashi



1951年東京生まれ。神戸大学理学部数学科、横浜国立大学工学部建築学科を卒業後、(株)リジナル・プランニング・チームで生態学的 土地利用計画の研究に従事。89年にP3 art and environment を開設。99年までは東長寺境内地下の講堂をベースに、その後は場所を特定せずに、さまざまなアート、環境関係のプロジェクトを展開している。帯広競馬場で開かれたとかち国際現代アート展『デメーテル』の総合ディレクター(2002年)、アサヒ・アート・フェスティバル事務局長(2003年-)、横浜トリエンナーレ2005キュレーター、別府現代芸術フェスティバル『混浴温泉世界』総合ディレクター(2009年、2012年)。また現在、P3 art and environment 統括ディレクター(ピースリーマネジメント有限会社代表取締役)。2012年よりデザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) センター長も務める。

## ▼ プロジェクトディレクター

岩間 賢 いわまさとし IWAMA Satoshi



1974年千葉県生まれ。これまでに場と人との対話を生み出す作品を多数発表。2002年に東京芸術大学美術学部博士過程修了。2006年から文化庁在外研修員として中国にて創作研究活動を行う。近年では、大地の芸術祭や中房総国際芸術祭、中国ビエンナーレなどの芸術祭に美術家としてまた芸術監督として参加。

## ▼ 参加アーティスト一覧

- ▷岡 博美 OKA Hiromi 染織師・天然素材からつくる絵具研究
- ▷チョウハシトル CHOHASHI Toru やきいも日和主宰
- ▷鈴木 敦夫 SUZUMURA Atsuo 美術家・モザイク薫製機制作
- ▷塩月 洋生 SHIOTSUKI Yousei ストローベイル建築・はさ掛けトラスト代表
- ▷風景と食設計室 ホー HOO. Landscape and food works フードプレゼンテーション
- ▷白井拓朗・菊池絵子 USUI Takuro+KIKUCHI Nuiko デザイナー

**ご多忙中とは存じますが、お披露目会へのご同席、  
ぜひご取材と告知のご協力を賜われますよう、よろしくお願いたします。**

取材に関するご質問はお気軽に！取手アートプロジェクト実施本部 (NPO 法人 取手アートプロジェクトオフィス)  
〒302-0024 茨城県取手市新町2-5-5 ARTOSかも2F Tel・Fax: 0297-72-0177 / 担当携帯 090-4087-8139  
Email: [tap-info@toride-ap.gr.jp](mailto:tap-info@toride-ap.gr.jp) Web: <http://www.toride-ap.gr.jp/> (担当：羽原・柴田・雨貝)

高須地区から発信する NPO 活動×産業×アートの取組み

NPO 法人バイオライフ  
菜種油地域還元キャンペーン  
デザインコラボレーション

▼ 取組概要

取手アートプロジェクト《半農半芸》に参加するアーティストユニット、風景と食設計室ホー（高岡友美＋永森志希乃）が、高須での取組みのひとつとして展開するコラボレーションプロジェクトが始動しています。

同じく同エリア、高須地区に搾油所を構え活動をおこなっているNPO法人バイオライフとの連携事業として、デザインコラボレーションを実施しています。同NPO法人は2014年2月～3月の2ヶ月間、地域還元キャンペーンとして「わたちのくに菜の花油」をワンコイン500円で販売します。このキャンペーンに際し、ラベルが一新され風景と食設計室ホーデザインとなりました。

このラベルには、衣・食・住・エネルギーの循環型地産地消を目指す、NPOバイオライフの活動コンセプトがそのまま表現されています。

高須という地域を拠点に生まれ始めているコラボレーションをどうぞご取材ください。

「地あふら」で美味しく、健康に

茨城県取手市にて2013年に栽培された菜種を低温圧搾・生搾り。自然な製法で丁寧に搾った地元産の「わたちのくに菜の花油」はビタミンEが豊富で、オレイン酸、α-リノレン酸、リノール酸の含有バランスが良い油です。

「わたちのくに菜の花油」コラボレーション企画  
取手市産業振興課、取手市商工会、NPO法人風景と食設計室ホー、取手市農協とのコラボ企画として、「わたちのくに菜の花油」をワンコインで販売します。  
地元産の多くの方には使っていないため、商品紹介プロジェクトです。

地元還元  
限定二〇〇〇本

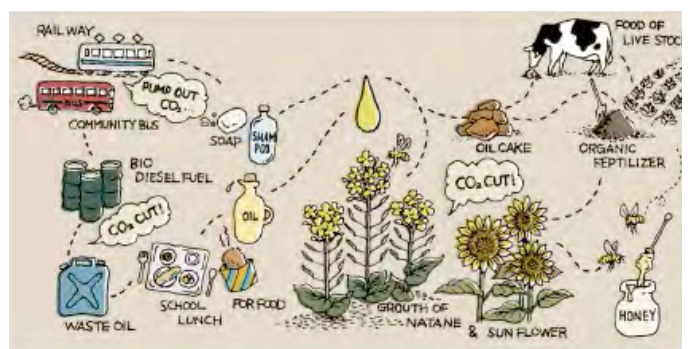
通常価格 ~~750~~ yen  
500 yen

容量：175g入り（200ml）  
材料：菜種（高須マツバシ）  
産地：茨城県取手市

味はあっさりマイルド。  
菜種本来の風味や酵素をそのまま生かした自然の油。生でも美味しく頂けます。

「畑で野菜を、ニンニクやアンチョビで香り付けした菜種油でオイル漬けに」  
「マッシュルームなど、きのこのオイル煮に」  
「サラダと共に、パンにそのままつけて」  
「パンケーキやアイスにかけて、アクセントに黒胡椒を」

デザイン：風景と食設計室ホー



デザイン&イラストレーション：風景と食設計室ホー

2/1 企画と合わせ、ご取材・記事掲載をお願いいたします。

\*別途資料提供も可能です。ご検討よろしくをお願いいたします。

取材に関するご質問はお気軽に！取手アートプロジェクト実施本部（NPO 法人 取手アートプロジェクトオフィス）  
〒302-0024 茨城県取手市新町2-5-5 ARTOS かも 2F Tel・Fax: 0297-72-0177 / 担当携帯 090-4087-8139  
Email: [tap-info@toride-ap.gr.jp](mailto:tap-info@toride-ap.gr.jp) Web: <http://www.toride-ap.gr.jp/> (担当：羽原・柴田・雨貝)

新興住宅地の子育て世代と高須地域をつなぐ  
**鈴木敦夫×桜が丘小学校 5・6 年生**  
**オリジナル・モザイク燻製機づくり**

▼ ワークショップを通じて子どもたちが作ったモザイクが巨大燻製機に！

取手アートプロジェクト《半農半芸》に参加するアーティスト鈴木敦夫が、2013年11月、12月の2回にわたり取手市立桜が丘小学校の5・6年生と一緒に「モザイク燻製機」をつくるワークショップを行いました。アーティストでありながら“燻製”を《半農半芸》での活動の軸として携わる鈴木氏は東京芸術大学油画科壁画研究室助手（～2013年度）で、イタリアでの在外研修時に世界遺産でもある教会のモザイク修復を実施。高い専門性のもとにモザイクワークショップを指導しながら、こどもたちと世界に一つしかない「モザイク燻製機」を制作しました。



この取組は、高須地区に隣接する新興住宅地で育つこどもたち、子育て世代の人々がこれから高須で営まれていく活動につながるためのファーストステップでもあります。

2月1日のお披露目会にはもちろん、こどもたちと保護者の方が作成したモザイクで飾られた巨大燻製機も合わせてお目見えします。

高須地域の“魅力”を地域の人々と探す  
**「やきいも師」が隊長 高須探検隊**

▼ 取組概要

《半農半芸》パートナーのひとり、チョウハシトルは「やきいも日和」主宰。文化としての「やきいも」を接点として地域に関わる活動を続けています。高須地区では去る9月に初回の「高須探検隊」を実施。高須地域の自称“生き字引”の方々と他のアーティスト、参加者らと共に高須地域を散策しました。探検隊活動では、アーティストやスタッフそれぞれが気になる場所を写真に撮影し、追ってMAP化することを目的のひとつとしながら、高須の風俗・歴史・文化を言葉で伝え聞く一日となり、長く人々の中で伝承されて地域に残るものを訪れることとなりました。探検により拾い上げられた地域の中の発見は、今後チョウハシ氏および高須での半農半芸活動の中で生かされていきます。



## 天然素材から「絵具」をつくる初めての試み

染織家 岡博美×東京芸術大学油画技法材料研究室

### 天然顔料による絵具の制作



#### ▼ 企画概要

植物を中心とした天然素材による染めと織りを専門とする染織師・岡博美は、これまでの制作実績を基に東京芸術大学美術学部油画技法材料研究室との研究連携のもと、これまで実現したことのない「天然素材の顔料化と絵具の制作」に取り組んでいます。2月1日のお披露目会ではその研究の成果の一端をお見せします。

岡氏はこれまで、取手市民を対象とした染めのワークショップや、東京芸術大学学生への講義と制作研究など取手での活動を行ってきましたが、専門機関との連携の上で本格的に取り組む「天然素材による油画絵具」の研究開発は油画表現および天然素材の表現への活用の可能性を広げる試みでもあります。継続的に本研究成果へのご注目を頂ければ幸いです。

**2/1 企画と合わせ、ご取材・記事掲載をお願いいたします。**

**\*別途資料提供も可能です。ご検討よろしくをお願いいたします。**

取材に関するご質問はお気軽に！取手アートプロジェクト実施本部 (NPO 法人 取手アートプロジェクトオフィス)  
〒302-0024 茨城県取手市新町 2-5-5 ARTOS かも 2F Tel・Fax: 0297-72-0177 / 担当携帯 090-4087-8139  
Email: [tap-info@toride-ap.gr.jp](mailto:tap-info@toride-ap.gr.jp) Web: <http://www.toride-ap.gr.jp/> (担当：羽原・柴田・雨貝)